

発 言 通 告 書 総 括 表

平成20年 第3回 定例会 一般質問

	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	中村議員 (ネット)	仮説である二酸化炭素原因説を振り回すと、食糧危機を招くことになる。慎重に対応する必要がないか。	<p>1. 化石燃料による二酸化炭素排出が、地球温暖化の原因であるという仮説が正しいのであれば、なぜ、採掘を止めようという声をあげないのか。</p> <p>2. 仮説によると、千代田区では具体的にどんな被害があると認識されているのか。科学的根拠についても説明して欲しい。</p> <p>3. 行政は二酸化炭素削減策と、省エネを混同させているように見える。もっと科学的知識と理解力をもって判断すべきではないか。</p> <p>4. 区は原子力発電所増設に向かおうとしているのか。</p> <p>5. バイオエネルギーで心配されることは食糧危機である。どう認識しているのか。</p>	区長・関係理事者
2	小枝議員 (声2)	<p>1. 江戸城外堀跡保存管理計画について</p> <p>2. 千代田区男女平等行政20年の到達点と今後について</p>	<p>11月より歴史まちづくり法がスタートする。日本の魅力を保持し、景観・観光の目玉とする機運の高まりでもある。千代田区外2区が3月に策定した「保存管理計画書」は同種の方針を定めたものと考えているが、計画そのものが宙に浮いている感がある。今後の都市づくりの基礎として重視されていくのか、誰がどのように進行管理するのか、条例・マスタープラン都市計画上の位置づけはどうするのか、文科省前や有楽町の外堀遺跡は何故「案内表示板」が出されないのか、など区の考え方を伺う。</p> <p>職員向けパバクオータの実施、外国人女性向け相談窓口の設置、子育て中の女性向け男女平等教育事業の実施、学校教育における男女平等教育の推進など</p>	区長並びに関係理事者
3	小林たかや 議員 (声)	<p>1. 公共施設の安全性と管理責任について</p> <p>2. 公共施設建設時の安全設計の考え方と安全管理、施設の使い勝手の作り込みについて</p> <p>3. 区の広報について</p>	<p>「ふじみ野市プール女児死亡事故の市担当職員、有罪判決」についての区長のご見解は、これを他山の石として、一層の意識改革につなげる必要がある。区長は、どのようにとらえているか。どう対応されたか。</p> <p>指定管理者や委託業者にたいして契約内容の確認をだれが行い、履行状況の監視をいつ、だれがどのように行っているか。</p> <p>指定管理者や管理を委託した業者が下請けに丸投げする場合、一部の業務を再委託する場合は、どのようにチェックしているか。実態を把握しているか。</p> <p>千代田区は、今後、麹町中学校、富士見こども施設(小学校・こども園)、麹町保育園、神田保育園、九段中等学校、麹町地域高齢者施設、保健所等の新設や改築、改修を次々していくが施設建設時の安全設計の考え方と安全管理、施設の使い勝手をどのように折り込み、進めるつもりか。</p> <p>現在、学校をはじめ公共施設で採光用の天窗やガラス屋根、ひさし等の使用の有無について把握しているか。各公共施設の総点検をしているか。安全性は確保されているか。</p> <p>広報紙掲載基準は、あるか。区民に示されているか。</p> <p>広報紙は、わかりやすいものとなっているか。</p> <p>「広報千代田」のインデックス化など一面を見れば、内容がわかる工夫が出来ないか。</p> <p>各部各課の冊子、しおり、チラシ、パンフレット等わかりやすい編集に配慮して作成しているか。</p> <p>広報紙とホームページ、携帯電話iモード等の連携で相乗効果をはかっているか。</p> <p>コールセンターは、充分広報され区民は理解しているか。</p>	区長及び関係理事者

	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
4	寺沢議員 (声)	廃プラスチックを燃やすことについて ごみ(特に生ごみ)は循環型にして、資源として、有効活用すべきではないか	・ごみ分別意識の低下と発生抑制に逆行するのではないか ・健康被害の心配について ・廃棄物処理場の延命が真の目的か ・広く区民に焼却について話し合う場の設置を ・4区で行った安全性の確認が現状で合致するのか ・戸田市に学ぶ、リサイクルと緑の連携	区長及び理事者
5	はやお議員 (自民)	1. 在宅介護の医療ニーズの充実に向けて 2. 総合住民サービスシステム構築のためのRFP(提案依頼書)手法の充実に向けて	本区においても特養の入所者のみならず待機者にまで医療ニーズが発生してきていること、さらに療養病床の再編による受け皿として考えられる地域での在宅療養における介護と医療の連携が進みづらい現状を鑑みて、以下の質問をする。 今後さらに増加すると予測される中重度要介護者に対する医療サービスの補完をどう考えるか。 在宅療養を推進するにあたっての地域における介護と医療の連携システムの充実、在宅療養を継続できるような介護者の負担軽減策をどう講じるか。 上記、を併せ持つ機能としての介護老人保健施設を区としてはどう捉え、今後検討する余地はあるのか。 RFP(提案依頼書)手法の充実は、ニーズに合ったフロント系システムの開発や開発期間の短縮・開発コストの削減に繋がり、区民にとって非常に有益な結果を残す。そこで、以下の質問をする。 総合住民サービスシステムは大規模なシステム開発となるため、多数の事業課との調整をどのような体制で推進しRFPを作成するのか。(プロジェクトリーダーはだれか) RFP作成支援のコンサルタントとIT推進課の役割分担はどうなるのか。 今後予想される制度変更、保健所システムとの連動拡張など、どのような方針で整理するのか。	区長並びに係理事者
6	福山議員 (共産)	1. 集会室利用料について 2. 歩行困難者駐車スペース利用証(パーキングパーミット制)について 3. 地下鉄神保町駅のバリアフリー化について	設定の基準はなにか 民間集会施設との違いをどう認識しているか 憲法「集会の自由」、地方自治法「公の施設」としての位置づけについての認識は都心5区と比較して高額になっているが、そもそも論にたって見直しが必要ではないか 障害者駐車スペースの実現状況は制度導入検討を求める 区、交通事業者による勉強会の成果は今ならば、実現の条件があると考えるがどうか	区長並びに係理事者

	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
7	飯島議員 (共産)	一)「仕事と育児」が両立できる働きかたについて 二)保育環境の向上について 三)保護者負担軽減について	次世代育成支援行動計画の前期計画は来年度で終了。これから後期計画の策定作業が始まるが、子育てしやすい環境づくりを進めるために問う。 子育てしやすい働き方は「人間らしく働ける」労働環境の中で実現できる。 1)「働き方を変える」区長宣言の取り組みについて 2)千代田区職員の「出産・育児」に関わる休暇取得の状況についてなど 保育園はこどもの発達を保障する場。保育環境の向上と「待機児ゼロ」のための公的責任は大きい。 1)後期計画は待機時ゼロ実現が大きな課題となる。今後の具体策に役立つ「ニーズ調査」を求める。 2)保育の民間化について 3)神田保育園の一時移転など、保育園の環境について 景気低迷、物価高の中で、「くらしの支援策」が必要。保護者負担を軽減する取り組みを求める。	区長、教育長ならびに関係理事者
8	野沢議員 (民主)	1、裁判員制度について	自宅で保育・介護にあっている区民の裁判員選任時の保育園や介護施設の一時預かりについて 区立保育園や幼稚園、小学校等の教職員の裁判員選任時の補充等の対応にいて 非常勤職員を含む区職員の有給の裁判員休暇制度の創設を 裁判員制度の所管の部署は？ 裁判員制度のPRについて	区長並びに関係理事者
9	嶋崎議員 (自民)	1、公営住宅に関する高齢者施策 2、次世代自動車の普及対策	(1)公営住宅法の改正による影響が特に心配されるのが今後の経過措置と軽減措置について (2)区高齢者施策において住宅部門と介護部門との密接な連携の必要性について (3)シルバーハウジングにおけるLSA(生活援助員)の育成と資質向上について (1)区自らの低公害車、電気自動車の積極的導入について (2)電気自動車普及のための充電スタンドの設置促進について	区長並びに関係理事者